

発行：山形県舟形町議会  
令和3年7月23日



表紙のことは  
17Pにあります。

鮎釣り解禁を前に放流する舟小児童（2年生）

- 議会新構成決まる ..... 2P
- 5月臨時会・6月定例会概要・質疑応答 ..... 4P
- 議案の採決状況 ..... 7P
- 町政を問う 一般質問に5議員 ..... 8P
- 議会報モニターアンケートより ..... 14P
- 議会活動 ..... 16P
- <新企画> ようこそ、舟形町へ！ ..... 17P
- えがったなあ・町民の声・編集後記 ..... 18P



放流され元気におどる稚鮎

# 議会新構成決まる

**議長 八俣 太氏（再任）**  
**副議長 奥山 謙三氏（新任）**

5月1日の臨時会において、議長、副議長の選挙を行いました。また、任期満了に伴い議会運営委員会および各常任委員会の構成替えを行いました。

## 議長 あいさつ

議長 八俣 太

5月1日の臨時会において議長に再任されました。町民の皆様への負託と信頼に応える議会のために心新たに取り組んで参ります。

今、世界中が新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、何かと窮屈な日常が続いておりますが、町では感染者ゼロの中でワクチン接種も順調に進んでおります。ワクチン接種により国内外問わず、沈静化へ向かうことを期待するところです。

不透明な時代ですが、核心的確にとらえ、必要とされる議会として議員一同活動してまいります。

今後とも皆様のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

## 副議長 あいさつ

副議長 奥山 謙三

町民の皆様方には、町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私は5月1日の議会臨時会におきまして、議員の皆様のご推挙により、副議長に就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。

今後は議長の補佐役として、町政の推進及び議会の公正かつ円滑な運営に努めて参りたいと考えています。

町議会も舟形町総合発展計画を指針として、地域活性化・安心安全なまちづくりを町執行部と一緒に進めて行きたいと考えています。今後とも議会に対し皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

**議会運営委員会とは……**

円滑な議会運営のために、会期や議案、請願等の取り扱いなどに関する議会運営全般についての協議や意見調整を行います。

## 常任委員会とは……

議会が条例で定め常設する委員会です。議員は必ずいずれかの常任委員会に所属します。広範多岐にわたり複雑化している行政事務を各課別に所管し、審議調査するための3常任委員会を設置しています。

- 総務文教常任委員会
- 産業振興常任委員会
- 議会広報常任委員会

常任委員会は所管事務調査（※）と請願・陳情などの審査を行います。

※所管事務調査：…それぞれの委員会が担当する町の予算や事業について調査すること。

## 議会選出委員等

最上広域市町村圏  
 事務組合議員  
 石山 和春  
 監査委員 齋藤 好彦

## 議会運営委員会

「効率的かつ円滑な議会運営を」

【所管】  
 ○ 議会の運営に関する事項  
 ○ 会議規則、委員会に関する条例等に関する事項  
 ○ 議長の諮問に関する事項



委員長 齋藤 好彦  
 副委員長 佐藤 広幸  
 委員 小国 浩文  
 委員 伊藤 欽一

## 産業振興常任委員会

「災害につよいまちづくりを目指して」

【所管】  
 ○ まちづくり課、農業振興課、地域整備課、農業委員会に関する事項



委員長 佐藤 広幸  
 副委員長 叶内 昌樹  
 委員 八俣 和春  
 委員 石山 浩文  
 委員 小国 浩文

## 総務文教常任委員会

「安全安心・福祉の向上と教育の充実を」

【所管】  
 ○ 総務課、住民税務課、健康福祉課、教育委員会及び会計室に関する事項  
 ○ 他の常任委員会の所管に属さない事項



委員長 伊藤 欽一  
 副委員長 荒澤 広光  
 委員 奥山 謙三  
 委員 叶内 富夫  
 委員 齋藤 好彦

## 議会広報常任委員会

「興味をもったいただける紙面づくりへ」

【所管】  
 ○ 議会報の企画、編集及び発行に関する事項  
 ○ 広報広聴に関する事項



委員長 小国 浩文  
 副委員長 石山 和春  
 委員 伊藤 欽一  
 委員 荒澤 広光  
 委員 叶内 昌樹

第2回臨時会  
5月1日  
6月定例会  
6月8日～10日

# 令和3年度一般会計補正予算

## 総額1億5480万円

6月定例会は、8日から10日までの会期で開催され、5人の一般質問に続き、一般会計補正予算等、全議案を原案どおり可決しました。

### 主な事業（令和3年度補正予算）

- <100万円以上の補正額を掲載>
- ▽新型コロナウイルス感染症対策費 1億2749万円  
(ワクチン接種対策事業、緊急経済対策事業 ほか)
  - ▽農業用施設災害復旧事業 ……1147万円  
(被災した平沢ため池の廃止工事)
  - ▽鉱害復旧事業 ……660万円  
(垂炭坑道に起因した農地陥没の復旧)
  - ▽財産管理事業 ……253万円  
(平成元年度購入の除雪機が修理不能のため新規購入経費)
  - ▽農業用施設災害復旧支援事業 ……192万円  
(豪雪により被災した農業用ハウス等の復旧)
  - ▽光ファイバ網管理事業 ……154万円  
(風雪により破損したライブカメラの修繕)
  - ▽猿羽根山公園管理事業 ……103万円  
(猿羽根山相撲場の土俵修繕)

### 主な審議された議案

#### 第2回臨時会

- 令和2年度舟形町一般会計補正予算の専決処分の承認
- 令和2年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算の専決処分の承認
- 舟形町税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認
- 令和3年度舟形町一般会計補正予算
- 小型動力ポンプ付消防積載車の取得（一の関・太折）  
(相手方 株長谷川ポンプ製作所)

#### 6月定例会

- 令和3年度舟形町一般会計補正予算
- 舟形町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
- 舟形町議会地域活性化特別委員会の設置

全議案の採決結果は7ページに掲載

## 質 疑 答

### 第2回臨時会

#### 損害賠償額の決定についての専決処分の報告

#### 雪庇による車の破損事故

**議員** もし子どもが車に乗っていけば、重大な案件だったと思うが、町はどう対応し、事故対策を取ったのか。また住人への啓蒙活動と業者の過失責任は。

**地域整備課長** 対応としては、今後こまめに点検を行い、小さなことでも危険な状況があれば、住人の皆さんと連携し、事故のないよう進めてまいります。



今にも落ちそうな雪庇

**総務課長** 屋根の雪の管理について、点検の契約を結んでいるものではなく、その施設の状況や入居者からの情報に基づいて、町側が業者に除雪をお願いしています。町が管理する上で発生した事故ということで、業者の過失責任は発生しないという契約になっています。

### 令和3年度一般会計補正予算

#### 町民のワクチン接種

**議員** ワクチン接種が始まったばかりで、情報が錯綜しているが、町民は全員、舟形町でワクチン接種を受けるといこと正しいのか。

**総務課長** 町外で医療従事者として勤務している場合等の特例はございますが、原則舟形町民は、舟形町でのワクチン接種となります。

#### 高齢者へのフォロー

**議員** 83歳以上の高齢者の方で、接種までのやり方がわからないという方がいましたので、そういう方がいたら、町側からも再度フォローしていただきたい。

**総務課長** 今、判断に困っている方、コロナワクチン接種そのものを理解できていない方がいらっしやると受け止めましたので、丁寧な説明をしていただけるよう健康福祉課長に伝えます。  
(健康福祉課長はワクチン接種対応のため代理答弁)

### 6月定例会

#### 令和2年度(株)舟形町振興公社経営状況の報告

#### 町農産物加工所の収支

**議員** コロナ禍で業務が苦戦している中、加工所収支の①加工光熱費、②支払手数料、③業務委託費が増額になっているが、内容は。

**まちづくり課長** ①昨年度購入した高温高圧釜・食器洗浄機・食器熱風保管庫による電気料、②鮎の加工品のパッケージデザインを変更するデザイン委託料、③機器類の保守点検業務委託費が増額になっています。コロナが収まった時に業務が早く再稼働し、収益増となるための内容です。



鮎の加工品の新たなパッケージデザイン

議案の採決状況

令和3年 第2回臨時会 (5月1日)		○賛成	×反対	⊖欠席	⊖退席	⊖除斥						
議案番号	議案名と主な内容	1 叶内昌樹	2 荒澤広光	3 伊藤欽一	4 小国浩文	5 石山和春	6 斎藤好彦	7 佐藤広幸	8 叶内富夫	9 奥山謙三	10 八俣太	採決結果
承認1号	令和2年度舟形町一般会計補正予算の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認2号	令和2年度舟形町国民健康保険特別会計事業勘定補正予算の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
承認3号	舟形町税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
報告2号	舟形町福祉避難所建設工事請負契約の一部変更についての専決処分の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
報告3号	舟形町防災拠点施設建設工事請負契約の一部変更についての専決処分の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
報告4号	損害賠償額の決定についての専決処分の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
報告5号	令和2年度舟形町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
議案26号	令和3年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案27号	小型動力ポンプ付消防積載車の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案28号	舟形町監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議3号	舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

令和3年 第2回定例会 (6月8日～10日)												
報告6号	令和2年度株式会社舟形町振興公社経営状況の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
議案29号	令和3年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議4号	舟形町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議5号	舟形町議会地域活性化特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

\*議長は採決に加わらない。 ※報告は採決を行わない。

◆令和3年 第2回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00～12:00)	午後(13:00～16:00)	傍聴者数
6月8日(火)	本会議	・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問3名	9人
6月9日(水)	休会	全員協議会 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 各常任委員会		-
6月10日(木)	本会議	・議案審議 (報告6号、議案29号、発議4号、発議5号) 終了後 議会広報常任委員会		6人



感染症対策を徹底しての食堂の営業

若あゆ温泉での食事

**議員** 感染症の影響で宴会等は中止しているようだが、夜の食事だけの営業やアフターコロナを見据え、テイクアウト等の考えはなかったのか。

**まちづくり課長** 感染者を絶対出さないという一致団結した取り組みを行ってきており、夜に食事だけの営業を行っても、お客様は入らないと判断しました。新しくお持ち帰りのできるオードブルを開発し、既に販売を始めています。

テニスコート等の使用状況

**議員** テニスコート・多目的グラウンドのコロナ禍での使用状況は。

**まちづくり課長** 使用状況については、令和2年度のテニスコートの使用人数は252名、元年度は1149名となっており、コロナの影響で減っております。

舟形町振興公社の役員体制

**議員** 令和3年4月からの新役員体制はどのようなになっているのか。

**まちづくり課長** 代表取締役は伊藤誠宏氏、取締役に菅原正春副町長、曾根田健まちづくり課長、取締役支配人に白鳥忠明氏、監査役に沼澤淳氏、高山富雄氏の役員体制でスタートしました。

支払手数料の増額

**議員** 振興公社決算報告書の支払手数料が令和元年度約64万円、令和2年度に約88万円と増額になっているが、その理由は。またこの予算は毎年発生するのか。

**まちづくり課長** 若駒まつりが40回を迎えるに当たり、臨時交付金を活用し、Tシャツ等のデザインを新しくするための委託料が増額になっています。デザイン料は今年度のみとなります。

令和3年度一般会計補正予算

成人式事業

**議員** 成人式参加者PCR検査費用助成補助事業の対象者と内容は。

**教育課長** 昨年度と今年度の成人式対象者は、計82名となります。内容としては、PCR検査を受けた後、領収書及び証明書等を町へ提出してもらい、その後補助金として1人あたり1万5千円を上限に経費をお返しするという流れを計画しています。



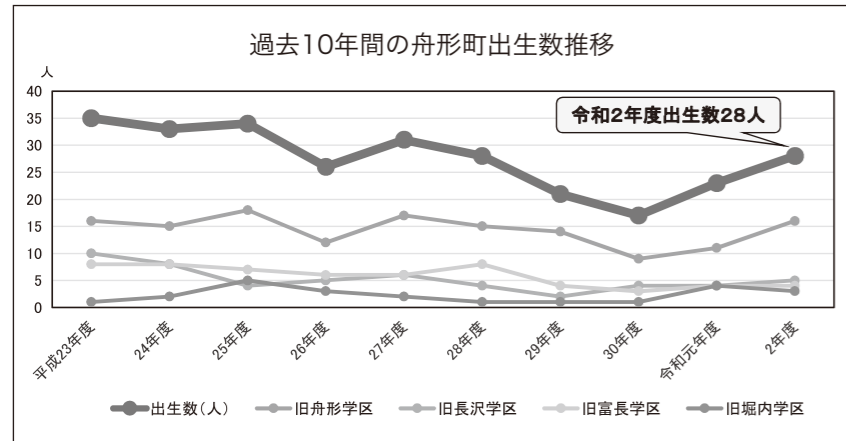
他市町村からも利用されているテニスコート



荒澤 広光 議員

# 子育て支援事業の継続・更なる充実を

## 魅力ある学校づくりを継続していく



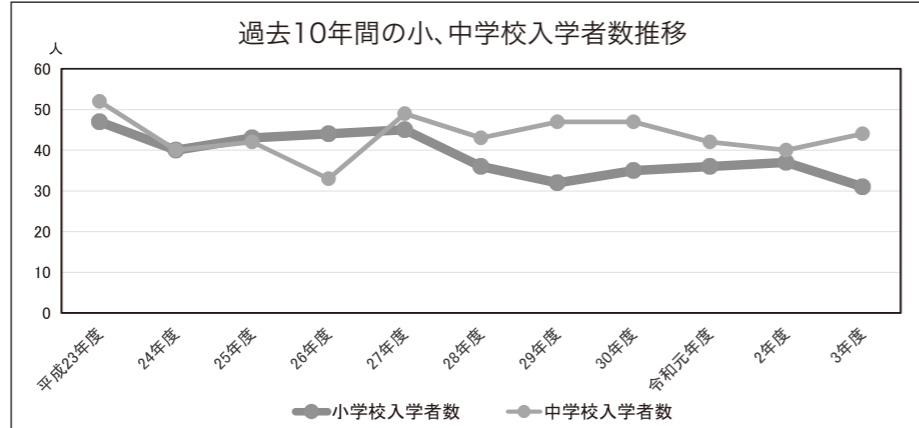
**質問** 舟形町の人口は、平成24年と比較して1086人、17.7%減と減少が進んでおります。出生数に関しては、10年前と比較し減少はしているものの、ここ数年は増加方向に転じているのが現状です。

入学人数の減少は鈍化しています。町では、子育て保健福祉サービスとして、様々な支援を行っておりますが、今後も支援事業を継続していくことは可能なのでしょうか。子供は町の宝であります。新たな支援で出生数の増加、人口減少が少なくなるように、小中学校入学時の新

一方、町の宝である子どもたちを守り、育てるため、学校活動の支援と

**質問** 中学3年間で体格が大きくなり着られなくなった子どもたちのため、

**町長** 中学生のための制服のリサイクルについては、保護者や母親委員会と相談して現状を調査いたします。



学校が窓口になり、制服をリサイクルするシステムも必要だと思いますが、

たな支援も必要だと思えますが、町長の考えを伺います。

**町長** 町では、「少子化対策・子ども育成プロジェクト」を重点プロジェクトの一つと定め取り組みを進めています。一部を紹介すると、妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援として、妊婦検診費用や新生児聴覚検査費用の助成、産後1年未満の母親を支援する産後ケア事業、助産師の指導によるベビーマッサージ事業や、子育て家庭の負担軽減として保育料の軽減、3歳児以上の給食費の無償化、出生祝い金として10万円の支給、高校生までの医療費の無料化、中

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずさることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。(本会議での持ち時間は一人40分)

### 荒澤 広光 議員

9ページ

★1 子育て支援事業の継続・更なる充実を



### 叶内 昌樹 議員

10ページ

- ★1 「持続的発展」で町の目標は
- ★2 地域プロジェクトマネージャー任用の条件は
- 3 ヤングケアラー支援の実態調査は



### 奥山 謙三 議員

11ページ

★1 ごみ減量化及び資源化への取組みを問う



### 伊藤 欽一 議員

12ページ

★1 河川公園の使用基準を明確に



### 斎藤 好彦 議員

13ページ

- ★1 新たな生活様式に即した移住施策を
- 2 住民避難保険での確な避難指示を



一般質問に5人が登壇

# 町政を問う

〈一般質問 掲載要綱〉

- 一般質問本文への掲載件数は、2件以内で3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。
- ★ マークのついた内容を一般質問本文へ掲載



奥山 謙三 議員

# ごみ減量化及び資源化への取組みを問う

## 啓発活動に努める



ごみは決まりを守り、出しましょう

**【質問】** 県の2030年度目標家庭系ごみの排出量は一人一日当たり528グラム(2018年度)から408グラムとしています。舟形町の現状は、家庭系廃棄物全体の処理量は減少傾向にあります。一人当たりの処理量は10年前より増加しています。

町の目標は一人当たりのごみの排出量は2018年度一日当たり554グラムから2024年度目標526グラムとなっています。資源化の取り組みとして行っている集団資源回収は回収量の減少が進んでいるようですが、SDGsの目標達成のためにもごみ減量化及び資源化への取り組みを強化すべきと思うが、町ではどのように進めるのか質問します。

**【町長】** 当町の一人一日当たり家庭系ごみの排出量は、直近の推移は550グラム程でしたが、2019年度に569グラムに増加しました。要因は、集団資源回収、資源ごみ直接搬入ごみのうち資源として利用されたものの数量が減ったためと考えられます。集団資源回収の状況は、紙類の回収量が減少しており、その大きな要因は、新聞紙及び雑誌類の減少によるものと思われま。令和2年度には資源回収団体への補助金交付要件を年3回以上から年1回以上に緩和しましたが、回収総量一人一日当たりの量ともに減少しています。社会環境が大きく変わる中、改めて町民一人ひとりのごみ減量化と資源化に対する意識付けを行うためホームページ、広報等による啓発活動に努めて参ります。



不法投棄は犯罪です 止めましょう

**【質問】** 資源ごみ回収団体数の推移は。

**【町長】** 2012年10団体、2019年11団体、2020年14団体となっております。団体数は交付要件緩和により増えていますが、回収量は減少しています。



叶内 昌樹 議員

# 「持続的発展」で町の目標は

## 定住しやすい環境整備に取り組む

**【質問】** 過疎法の目的が「自立促進」から「持続的発展」に変更され、東京一極集中は正と地方への分散型社会の加速を目指すとのことのようにあるが、新型コロナウイルス感染症によって都会から地方への移住意欲が高まり、若者の田舎回帰の機運も高まっているのがチャンスであり、雪国で

も安心して移住できる環境を整備するべきではないか。

**【町長】** 町としては、第一に「住んでいる人が誇れるまちづくり」の取り組みが必要と考えております。そのため、おかげで孫プロジェクト等の町の移住・定住関連事業では、町の良さを子どもや保護者に知っていただき、将来住む場所を考える際に舟形町が選択肢の一つになることと合わせて郷土愛の醸成を図る取り組みを行っています。また5G等の高速通信網を活用したデジタル化の推進は、生活環境や、学習及び就業環境の向上と合わせて移住に限らず定住にも必要です。加えて、農業次

世代人材投資事業をはじめとした各種支援策や、空き家バンク、新築・リフォーム補助、民間アパート建設費補助等の支援により、移住者に限らず雪国でも安心して生活が送れるよう取り組んでいきます。

**【質問】** 最近の新聞等で、各地で協力隊の任期を終了して定住し活躍している記事を最近よくみます。地域の活性化には人材が必要で期待は大きいと思うのですが、協力隊とのスキルが異なる外部の専門人材と連携しながら地域振興を推進する「地域

地域プロジェクトマネージャー任用の条件は必要に応じて検討

プロジェクトマネージャー」も欠かせないものだと思いますが、任用については町で協力隊が採用されたら検討するのか伺います。

**【町長】** 地域プロジェクトマネージャーは、外部専門人材、地域、行政、民間等の関係者を橋渡ししつつプロジェクトをマネジメントできる人材が不足している場合に市町村が任用する制度です。6月より町では新たに1名の協力隊を任用しており、今後も移住・定住・起業などの可能性をもった地域おこし協力隊の募集を継続することし、地域プロジェクトマネージャーが必要とされる地域・行政・民間が関係する重要事業があった場合に、活用を検討します。



早期に増設された5Gサービス

プロジェクトマネージャー任用の条件は必要に応じて検討

### 地域プロジェクトマネージャー制度概要

- ★人物像
  - ・地域の実情の理解、専門的な知識、仕事経験を通じた人脈、受入団体及び地域との信頼関係 etc
  - ⇒地域おこし協力隊OB・OG、地域と関係の深い専門家 等
- ★地方財政措置
  - ・地域プロジェクトマネージャー雇用による経費を対象に650万円/人を上限に特別交付税措置
  - ・1市町村あたり1人、1人あたり3年間上限
- ★地域要件
  - ・3大都市圏内又は3大都市圏外都市地域から、条件不利地域へ住民票を異動(地域おこし協力隊と同様)
  - ・ただし、現地の協力隊から任用される場合は、移住を求めない。

令和3年度より創設された新制度(総務省)



齋藤 好彦 議員

# 新たな生活様式に 即した移住施策を

## デジタル化で新たな移住施策を展開



デジタル化が進むあゆっこ村

町では、相談窓口をまちづくり課に設置し、関係各課との連携により移住施策を展開しております。空き家バンク及び住宅の新築及びリフォーム補助をはじめとした住宅関連の支援や、移住支援金や移住世帯向け食の支援による移住支援、やまがた暮らし大相談会やハッピーライフカフェなどによる移住相談会の開催、また、就農においては早期の経営確立を支援する、農業次世代人材投資事業をはじめとした就農支援など、移住施策は多岐にわたっており、移住相談があった場合は、関係各課が連携して対応できる体制を整えております。そのような中で、移住だけではなく定住においても必要な条件の一つに、デジタル化の推進による生活環境の整備が挙げられます。町では総合発展計画にデジタルファーストプロジェクトを重点プロジェクトの一つに掲げ、他市町村に先が

けてデジタル化推進計画を策定し、人口減少に対応した「先進的少数社会」の実現を目指し、移住施策を推進してまいります。移住の推進については、引き続き、町ホームページ、県の移住ポータルサイトへの掲載を行い、加えて、ふるさとサポーターとの連携などによりこれまで以上の周知

を図ってまいりたいと考えています。全国的な人口減少は、当町においても例外ではありませんが、各種事業の展開により、町総合発展計画の将来像である「住んでいる人が誇れるまち」「わくわく未来ふながた」の実現に向けて今後も取り組んでまいります。

**質問** 収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活様式が一変し、都会を離れ地方へ移住して、テレワークなどによる新たな様式で生活をする人も徐々に増加傾向にあり、第7次舟形町総合発展計画の基本目標で謳っている「安心して暮らせる住環境等の整備」の項目に「移住施策」を掲げているように、移住者の受け入れに

ついて積極的に展開すべき時であると思います。これまでも、移住促進にむけた環境整備、空き家バンクのPR、臨時交付金によるICT環境の整備に取り組んで来ましたが、相談窓口の設置等、より具体的な対応が必要と考えます。移住者受け入れの具体的な施策、支援措置等について町長の考えを伺います。

**町長** 町では、相談窓口をまちづくり課に設置し、関係各課との連携により移住施策を展開しております。空き家バンク及び住宅の新築及びリフォーム補助をはじめとした住宅関連の支援や、移住支援金や移住世帯向け食の支援による移住支援、やまがた暮らし大相談会やハッピーライフカフェなどによる移住相談会の開催、また、就農においては早期の経営確立を支援する、農業次世代人材投資事業をはじめとした就農支援など、移住施策は多岐にわたっており、移住相談があった場合は、関係各課が連携して対応できる体制を整えております。そのような中で、移住だけではなく定住においても必要な条件の一つに、デジタル化の推進による生活環境の整備が挙げられます。町では総合発展計画にデジタルファーストプロジェクトを重点プロジェクトの一つに掲げ、他市町村に先が



入居者に好評の若者向け定住・移住住宅



伊藤 欽一 議員

# 河川公園の使用基準を明確に

## わかりやすい新たな看板を設置する



芝生での直火焚きの跡

**質問** 河川公園内にある芋煮会場の芝生上で直火焚きした痕跡が多数あり、大きな面積ではありませんが芝生が茶色に焼け爛れマナーの悪さに驚いたところであります。公園内には、環境美化推進指

定区域の看板が設置されていますが、「空き缶やたばこの吸い殻、ペットのフン、その他のゴミ」を投げ捨て、散らかせたり、科せられるとの内容で、公園の使用に関する記載が全くなりません。会場の使用に関し、町の対応はどうしているのか。また、設置されている看板は平成13年1月1日であり、20年が経過していますが、記述内容の変更も含め新設する考えは無いのか、伺います。

規制されています。河川公園使用に関する具体的な町の対応については、子供会活動や各種団体等の利用時は、競合によるトラブル等がないよう使用申請をいただいております。使用条件として「ごみの持ち帰り」「芝生内での直火だきの禁止」「車両乗り入れの禁止」「損害を与えた場合の修理責任」を明示する他、異状出水の安全を考慮し、泊まりキャンプの禁止を伝えています。使用基準については、「法令による禁止制限事項」「他の利用者等への危険・迷惑行為」「思いやり、譲り合いのマナー」の3つに分類し、これらの事項を精査し、今後、わかりやすい形で新たな看板を設置

**町長** 河川公園は、基本的に河川の「自由使用の原則」により誰もが自由に使用できますが、河川利用については、「河川法」という法律により

するとともに、町のホームページ等で周知を行い、誰もが安全かつ快適に利用できるよう、必要であれば警察等とも連携し、ルールの徹底とマナーの向上を強く呼びかけてまいります。

**提案** 看板は、文字だけでなく子供たちにもわかるような、イラスト等を取り入れた内容にしてはどうですか。

**町長** ルール等を記載した誰でもわかるような看板にします。



環境美化推進指定区域看板

### ◆一般質問について (8~15ページ)

- ・写真があってわかりやすい。しかし、Q&A方式では、専門用語も多く、読み切れない方もいるのでは。議事録方式もありかと思った。但し、議員さんと町長のやり取りが読めるのもメリットだと思う。
- ・専門職大学の開学に向けての取り組みと、小中一貫校に向けての取り組みが今後も気になった。
- ・すばらしい政策検討が行われており、舟形町の未来は明るいと感じた。より良い未来作りの為に、IoTを意識した政策検討が行われる事を期待する。※IoT…モノにセンサーをつけ、センサーが取得した情報を活用できるようにすること。
- ・コロナについて、今世間を騒がせてはいるが、町内にもいろいろな問題があるのだと思った。
- ・自分の知らない情報がたくさん議論されていると思った。
- ・質問に対する返答が「検討します」で終わっているものに関しては、その後の事も後々議会だよりに掲載してくるだろうか。

### ◆議会活動について (18~19ページ)

- ・インタビューの受手を探すのは大変なことと思う。インタビューする方、受ける方、両方の方にありがとうございました。以前からこのページは読ませてもらっている。
- ・リアルな生の声が掲載されており、納得しながら拝読した。議会で検討されることを期待する。
- ・地元の言葉を使い、とても家族的で編集に活かされていて、ゆきとどいていて良いと思う。
- ・農家後継者様、農業を楽しんでほしい。

### ◆議会・町に対する意見等、その他

- コロナワクチンの接種順位で、介護施設従事者の順位が、高齢者の次なのは何故なのか疑問を持った。
- 舟形第3のひだまりタウンに融雪溝がないので、冬の雪捨てが不安。「てとて」の裏側に雪捨て場を作るなどの考えはないのか。「ひだまりⅢ」と「てとて」の隣の新しい住宅地のゴミステーションに乾電池を捨てるための箱がないので、つけて欲しい。
- ・どんどんオンライン化を進めていただきたい。
- ・議会だよりは、町民と結ぶ懸け橋。皆さまのご活躍をお祈りしつつ、モニターとしてアンケートを書けるのは感謝している。
- ・土木、建築、農家、皆うるおう町にしてほしい。

### モニターさんのご意見にお答えします

- Q. コロナワクチンの接種順位で、介護施設従事者の順位が、高齢者の次なのは何故なのか疑問を持った。
- A. 国から示されている接種順位として、65歳以上の高齢者の次に、介護施設従事者としていますが、町の方針として、クラスター発生の防止のため、65歳以上の高齢者より前に、町の高齢者施設入居者及び職員から先に接種を行いました。

今回から6人の新モニターさんになり、数多くのご意見をいただきました。広報委員会で検討して改善できるところから行っていきたくと考えています。  
1年間、よろしくお願いいたします。



## 貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより



今回は議会だより186号(4月23日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

### ◆表紙について

- ・新たな子育て支援事業と表紙の写真の関係性がわからない。
- ・「広くなった」とあるが、写真の角度的に広さがいまいち伝わらないと思う。
- ・新型コロナウイルス感染対策の観点から親御さんはマスクを着用されているが、お子様がマスクを着用していない、できないことに予防対策の難しさを改めて考えさせられた。
- ・温かい雰囲気が出ていて良かった。
- ・舟形の担い手よ、たくましく育てほしい。
- ・新しい施設の中が見られて良いと思った。

### ◆定例会概要、質疑応答、特別委員会概要、質疑応答について (2~6ページ)

- ・的外れな質問かもしれないが、各質問された議員さんの名前が記されないのが気になった。選挙で選ばれた、どなたがどんな質問をしているのかわかると次の選挙への参考になるし、町内でも話しやすいと思った。但し、過去の経緯もあると思うので、気になさらず結構である。
- ・大事なポイントを色分けし、各々の課長が真摯に答弁していたと思われる。
- ・消防団に関する会議が今年は多い気がした。
- ・モニターになってはじめてじっくり議会だよりを読んだ。なので予算などの事はまだ勉強不足で何ともまだ言えない。

### ◆採決状況表について (7ページ)

- ・個々の議員を尊重し、細やかに質問、また答えているのではないかとと思われる。
- ・議員全員の参加された採決に意味がある。
- ・全員が全部に賛成、○だらけの表がなんとなく気になった。

### モニターさんのご意見にお答えします

- Q. 「ひだまりⅢ」と「てとて」の隣の新しい住宅地のゴミステーションに乾電池を捨てるための箱がないので、つけて欲しい。
- A. 町役場の「生活安全係」にご意見をお伝えしました。



早速設置された乾電池回収用ボックス



# ようこそ、舟形町へ!

舟形第3に移住された **早坂 隆志さん** (戸沢村出身) にお話を伺いました。



## Q、どんなきっかけで、いつから舟形町に移住しましたか?

新庄市のアパートにすんでいましたが、子どもの成長に伴い、自宅を建てる土地を探しました。予算から新庄市の中心部を除外して、郊外で土地を探しましたが、地価に対して不便なところが多く感じました。そんなときに舟形の土地を紹介してもらい、値段も新庄市郊外と同程度(町からの支援金があったのも良かった)、保育園や小学校も近く、子育てしやすい環境だと感じて、住み始めたのが2017年冬になります。

## Q、移住を検討している方へメッセージ

住めば都といえますので、どこでも住み始めれば同じだと思います。

ですが、他の市町村と比べて町長や役場職員の方は、移住者に対しての準備をしっかりしてくれているなど、初めて町役場を訪れたとき、私は感じる事ができました。私が属する町内会は、近年移住者が増えており、町内会の皆さんも移住者に慣れているようで、温かく見守っていただけているのではないかと思います。

## Q、舟形町での生活はどうか?

思っていたとおり、子育てはとてもしやすいです。町営住宅や子育て世代の住宅が近所にあり、子どもたちも多く、賑やかさがあり、子育てするにはとても良いと感じています。

## Q、舟形町の良い所・改善して欲しい所は?

福祉に対して、力を入れてくれているのが良いです。私が舟形町からいただいた定住交付金や子育て支援金もとても良いものだと思います。自宅が小国川沿いの道路に面しており、近年の自然災害増加が気になりますので、その対策や準備を活発にしていきたいです。

## 議会だよりふながたの表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問合せ：舟形町議会事務局 32-0030 (直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は **9月7日(火)～15日(水)** までの予定です。

議会を傍聴される方は、感染症対策のためマスクの着用や検温等へのご協力をお願いいたします。

## ○特別委員会とは……

特定の問題を調査または審査するために、必要に応じて議会の議決によって設置する委員会です。

## 舟形町議会地域活性化特別委員会の設置

### 1. 委員会設置期間

令和3年6月10日～令和5年4月30日

### 2. 委員の定数

議長を除く9名の議員

### 3. 設置目的

当議会において、舟形町の地域活性化を図るために議会改革を含め課題を調査し、町に提言・提案していくことを目的とする。



活性化に向けての意見交換会

## 舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告及び設置

### 1. 委員会設置期間

令和2年6月11日～令和3年4月30日

### 2. 調査検討事項

- (1) もがみ中央農業協同組合の要望内容について
- (2) (有)舟形マッシュルームの現状について
- (3) 地方創生臨時交付金の事業内容について
- (4) 事業要望案の提出・成果

以下、提案し実施された事業

- 公共施設Wi-Fi環境整備事業
- 農作業受託推進協力金交付事業
- 地区公民館新型コロナウイルス感染症対策設備整備補助金事業
- 元気にくらしましょう品券事業

- (5) 誹謗中傷をなくし共に支え合うことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議について
- (6) その他

設置期間の終了に伴い、5月1日臨時会にて報告をし、同日に改めて設置期間を令和3年5月1日～調査終了までとした「舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を設置しました。引き続き、一層の感染予防対策と町民生活及び地域経済に及ぼす影響の軽減のため、必要とされる取り組みを調査すると共に、国、県、町の施策に対して、提案・要望を必要に応じて行っていきます。

## 議会のこぼれ

29日	22日	8日	6日	1日	▼6月	31日	26日	25日	24日	23日	20日	17日	14日	1日	▼5月	29日	26日	15日	9日	8日	7日	5日	1日	▼4月	
議会広報常任委員会	議会地域活性化特別委員会	最上市町村・地方町村議会議長会定期総会	総務文教常任委員会所管事務調査	6月定例会(10日)	実技研修安全狩猟射撃大会	山形県町村議会議長会臨時総会	議会運営委員会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会	山形県町村議会議長会臨時総会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

# えがったなめ

## シリーズ

♥ご夫婦のお互いの趣味

ドライブ

♥舟形町の良い所

自然が豊か

♥お名前の由来

素直で誰からも愛され、色々な可能性に満ちあふれた人生を歩んで欲しい。

♥子どもへの想い

いろいろな事にチャレンジし、人生の幅を広げ強く育てて欲しい。



今回は、長沢にお住まいの阿部 真さんと大石田町出身のさゆり(旧姓:吉田)さんご夫婦と真宙(まひろ)くんです。皆さんよろしくお祈りします。

### お願い

「えがったなあ」に出してみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

### (連絡先)

舟形町役場議会事務局  
☎32-0030 (直通)

## 声

私は舟形町に営業所がある農業機械販売の会社に勤めています。

日々、農家の方々の大変さを身に染みて感じ、少しでも役に立てればと思いつながら仕事をしています。

舟形町は、中古農機導入補助金や、除雪機購入補助金など、他の市町村では、あまりやっていない支援があり、いい事だなと感じています。今後の目標は、子供を元氣いっぱい育てて行けたらいいなと思っています。

行政に望むことは、雇用や生活水準の充実をし、舟形町が、エネルギーシフトで、町民のみならず、笑顔で暮らせるような町づくりを期待しています。



松田 至朗さん  
(沖の原)

(議会より)  
農業経営継続に向けて、舟形町らしい事業の更なる充実を議会として町に提案してまいります。

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

## 編集後記

舟形町では、新型コロナウイルスワクチン接種が4月24日から始まり、順調に進んでいるようで安心しています。このまま、コロナの感染者を出すことなく、元の生活に1日でも早く、戻れることを願っています。

5月1日の臨時会で、議会広報常任委員会も新たな構成となり、議会だよりの新しい企画として、町に移住していただいた方にインタビューをお願いしました。今後も、町民の方の声を積極的に取り入れ、舟形町の新たな魅力を発見し、皆さまに読んでいただける紙面づくりに努めてまいります。

(小国 浩文 記)

### 発行責任者

議長 八 欽 太  
議会広報常任委員会  
委員長 小国 浩文  
副委員長 石山 和春  
委員 伊藤 欽一  
委員 荒澤 広光  
委員 叶 内 昌樹